



▲教育委員会を訪れ、図書を手渡す福地孝司会長と役員の福島徳子さん、永石喜八さん

子どもたちの豊かな心を育みます

多久ロータリークラブが図書を贈呈

多久ロータリークラブは6月3日、市内全校へ約10万円分の図書56セット70冊を贈呈しました。

図書は各学校の希望に沿って選んだもので、贈呈は7回目。福地孝司会長が「多久市の子どもたちの健全な育成のために活用して欲しい」と手渡すと、中川正博教育長は「昨年は読書チャレンジ大賞で8校が入賞。朝読や家読にも貢献いただいている」とお礼を述べました。

今泉弘校長会会長は「一貫校での図書の整理も済み、楽しみにしていた読書活動に取り組んでいます。子どもたちは本当に本が好きで新刊が届くのを楽しみにしています。本は心を豊かにするとともに、学びも豊かにします」と謝意を伝えました。

お見事！佐賀県大会優勝！！

高松宮賜杯第57回全日本軟式野球（一部）佐賀県大会

5月18日に鳥栖市民球場で行われた、高松宮賜杯全日本軟式野球佐賀県大会（一部）で、多久市代表の佐賀鉄工所多久BBCが激戦を制し、見事優勝しました。創部3年目とチームの歴史は浅いものの、県内の強豪を打ち破っての快挙でした。チームは攻守のバランスがよく、守りではエース沖田さんの速いストレートと鋭いスライダーで打ち取り、攻めではどこからでも得点できる打線が特徴。メンバーは若いチームですが、ムードメーカー古瀬さんを中心にまとまりがあり、チームワークが抜群です。

主将の白木啓介さんは「練習の時間と場所もなかったが、会社の空を部員で整備してグラウンドを確保し、短い時間で集中して練習している。九州大会で1勝すれば全国大会へ出場できるので、まずは九州大会を勝ちたい」と抱負を語りました。



▲見事優勝した佐賀鉄工所多久BBCのメンバー

東部校5年生が東多久駅でひまわりの種まき

6/14

東部校5年生32人が、東多久駅の「ふれあい花壇」やホーム周辺で、ひまわりの種まきと除草作業を行いました。これはJR九州OB会佐賀支部が、地域と子どもたちのふれあいを大事にしたいと長年取り組んでいるもので、東多久町在住の渋谷初貴さんら4人が児童に種まきを指導し、地域の人へ元気にあいさつすることを願いました。児童は「東多久町がきれいになるように頑張った。咲くのが楽しみ。たくさんの人に見てもらいたい」と話しました。



県内屈指の大つつじをご覧あれ！

6/10

多久町の専称寺（住職 川副春海）の大つつじが今年も満開に咲き誇りました。

大つつじは樹齢約600年で、樹高は約3.5メートル、枝張り5メートルで市の天然記念物に指定されている県内屈指のサツキつつじです。紅桃色漏斗状の五裂の花を咲かせ、6月上旬に満開になり、見頃を迎えます。

川副住職は「6月下旬に花摘みをして、油粕などの肥料で手入れをしています。今年は例年に比べて花芽が多い年。みなさんに楽しんでほしい」と話しました。

